

関川（光星）高 決勝逃す

女子ボルダー

Sクライミング

世界選手権

スポーツクライミング

の世界選手権は27日、韓国・ソウルで女子ボルダーが行われた。予選24位

以内で争う準決勝で、関川愛音（八学光星高）は44・8点の13位タイとなり、決勝進出を逃した。予選を11位タイで通過した関川。準決勝では4

課題中1課題の完登にとどまり、上位8人の枠に入れなかった。準決勝には関川以外に日本の4選手も挑んだが、パリ五輪代表の野中生萌の9位が最高で、いずれも決勝進出を逃した。（千葉達也）



【女子ボルダー準決勝】課題に挑む関川愛音＝ソウル

13位「すごく悔しい」

〇…18歳の関川は日本勢2番手の13位だった。緊張もあった初出場で「すごく悔しい。ただ単に対応できていなかった」と声を震わせた。

準決勝は第3、4課題の攻略が鍵だったが「（最後の）第4課題は全然できる気がしなかった」と落胆。トップ選手の仕上がりの違いも肌で感じ「もっと頑張りたいと思った。いろんな選手の登りが勉強になった」と成長の糧も得た。